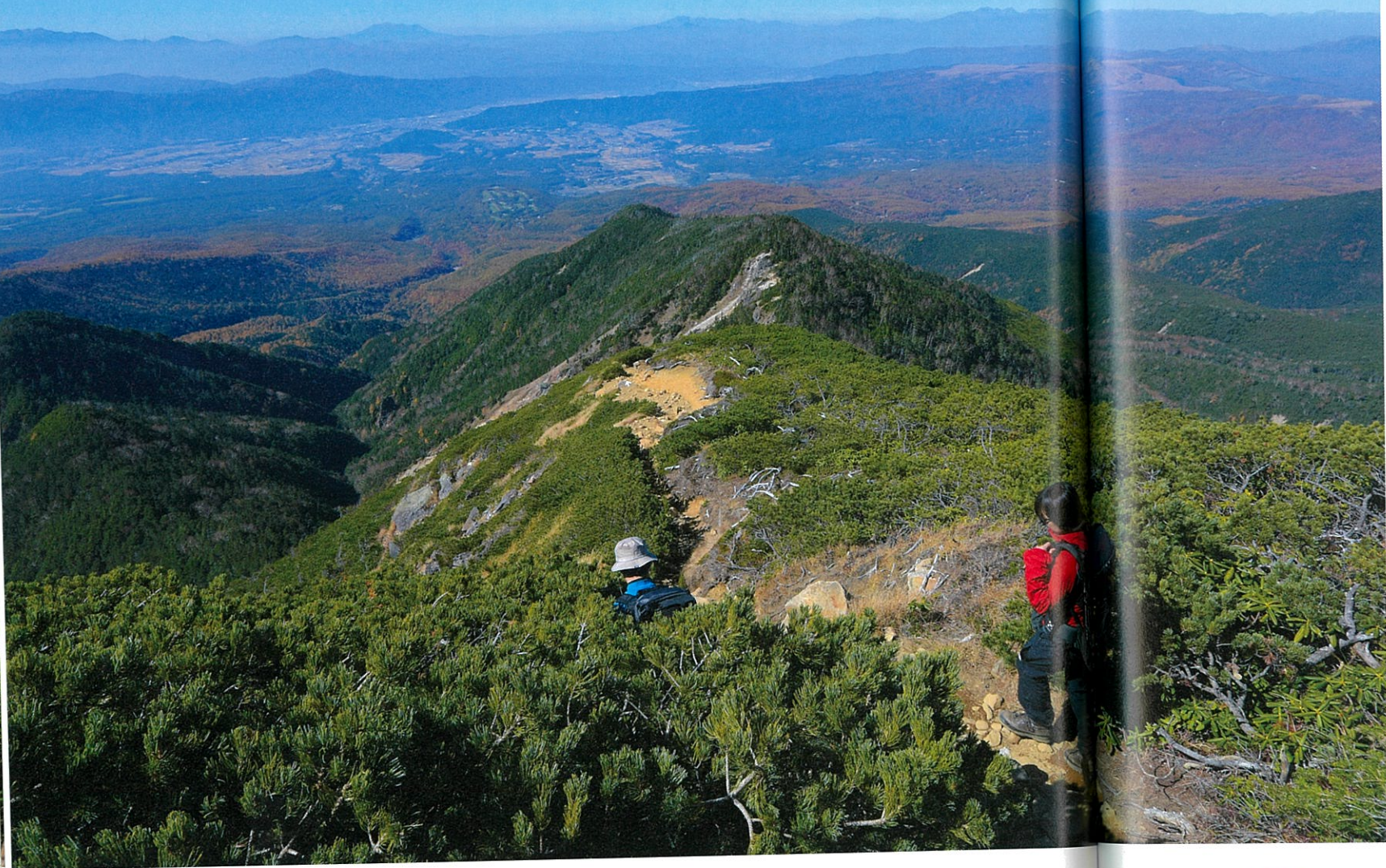


空気の澄んだ10月の西尾根。御嶽山、アルプスの山並みがくっきり



天狗岳

(唐沢鉱泉コース)

唐沢鉱泉・西天狗・東天狗・中山峠・黒百合平・唐沢鉱泉

静かな西尾根から天狗岳の山頂をめざす

西天狗から真西に延びる西尾根は、一定の傾斜の登りが長く続くが、上部は一転して岩の急斜面となる。この変化がおもしろく、尾根に出た際の眺望の変化も劇的だ。東天狗から先は黒百合平とコケの森を周遊して唐沢鉱泉に戻る。渋ノ湯コースより人が少なく、静かなのも特徴だ。

長い西尾根から天狗岳をめざす

唐沢鉱泉前のしやくなげ橋を渡って入山。細い幹のシラビンとコケが広がる森は、緩い傾斜で登りやすい。半ばで直線道となり、折り返すと枯尾ノ峰分岐に出て西尾根に乗る。ここで東に向きを変える。



一直線に見通しが利く天狗岳西尾根。傾斜が一定で快適に登れる



コースマップ→P59

日程
日帰り

技術度 3

体力度 2

Data

歩行距離
8km

参考コースタイム
5時間55分

紅葉
9月下旬～
10月中旬

高山植物
7月上旬～
8月中旬

登山適期
6月上旬～
10月下旬

標高
2646m
(西天狗)

一軒宿の唐沢鉱泉は、日本秘湯を守る会の宿。前泊するのよい

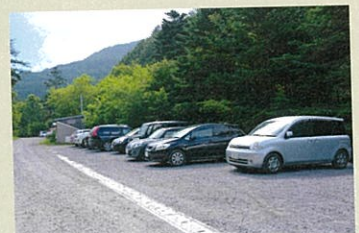


山小屋情報

唐沢鉱泉 ☎0266-76-2525
黒百合ヒュッテ ☎090-2533-0620

マイカー情報

中央道諏訪南ICよりエコーラインを経て約23km、約1時間。登山者用駐車場に約40台駐車可能、無料。



登山者用駐車場は唐沢鉱泉手前の道路沿いにある

公共交通機関

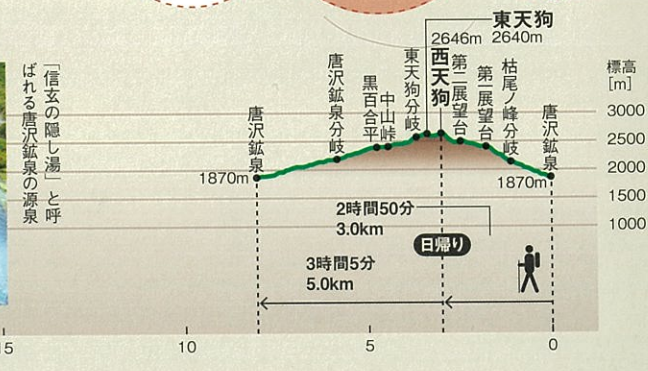
〈往復〉

JR中央本線茅野駅
タクシー 約55分 7500円
アルピコタクシー ☎0266-71-1181
諏訪交通 ☎0266-72-1190
第一交通 ☎0266-72-4161

唐沢鉱泉



「信玄の隠し湯」と呼ばれる唐沢鉱泉の源泉





根石岳へと続く広い稜
線、緩い斜面を一直線
に登る

天狗岳

（夏沢鉱泉コース）

桜平・夏沢鉱泉・オーレン小屋・夏沢峠・根石岳・天狗岳・桜平

夏沢峠を経由しコマクサと稜線歩きを楽しむ

桜平から夏沢沿いに登り、夏沢峠から天狗岳をめぐるコースは、根石岳までは危険箇所がほとんどなく、地元中学校登山でも利用される。ここでは日帰りでの紹介だが、コース上に山小屋が5軒あるので、どこかを利用すると時間的余裕が生まれ、充実した登山になるだろう。

夏沢峠から主稜線をたどり天狗岳へ

桜平から夏沢峠を経てオーレン小屋まで約1時間20分、緩やかに登る。オーレン小屋

で水を補給してひと息入れ、夏沢峠に向かう。夏沢峠には2軒の山小屋があるので、宿泊するの一案だ。峠からは東側の崖に沿った道を北上する。樹林に囲まれて眺望はないが、振り返ると硫黄岳が目に入る。登山道が西に曲がるあたりからほぼ平坦になる。根石岳・東・西天狗が並んで見える樹林の切れ目が1カ所ある。好展望だが、斜面崩れでロープ規制があるので注意。白砂の道となり、背の低い針葉樹林の間を気持ちよく歩く。突き



コースマップ→P59

日程
日帰り

技術度 4

体力度 3

歩行距離
11.6km

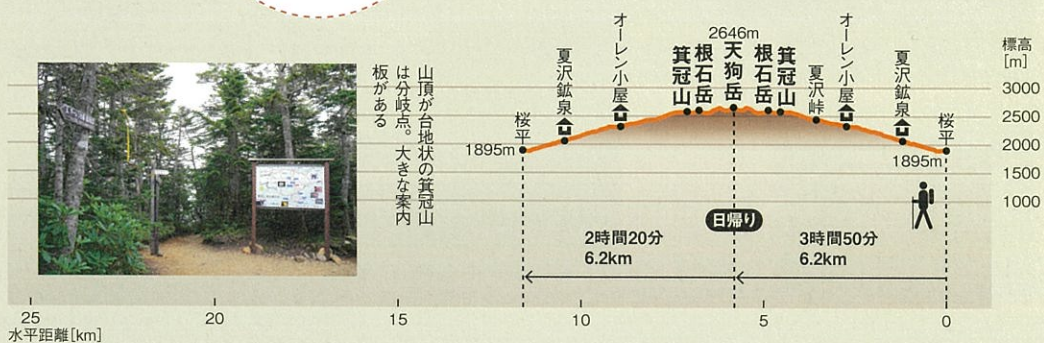
参考コースタイム
6時間10分

紅葉
7月上旬～
8月中旬

高山植物
7月上旬～
8月中旬

登山適期
7月上旬～
8月中旬

標高
2646m
(西天狗)



ハイマツ帯を出て一気に開ける眺
望、裾野のラインが美しい

尾根は樹林の中だが、登山道は前方の見通しが利く。気持ちよく登っていくとハイマツ、シャクナゲ帯となり、唐突に視界が開ける。南八ヶ岳の裾野が東に長くたなびき、茅野市街地へと連なっている。すぐ先の第一展望台では360度の眺望が得られる。

下山は中山峠まで北へ向かう。天狗ノ鼻岩峰を左に巻き、岩稜を下る。東天狗分岐を過ぎて樹林帯に入り、岩場を経て中山峠に着く。西に曲がればすぐ黒百合平だ。一部木道の道を、沢沿いに



左手前より、根石岳、箕冠山、硫黄岳。奥に赤岳、阿弥陀岳も見える



西天狗山頂。標識の裏手に小道が通じ、展望地がある

眺めのよい尾根をしばらく進み、再び低木帯に入る。大岩に突き当たり、稜線南寄りの樹林帯を進む。緩く下って登り、ガレ場を過ぎると第二展望台。前方の西天狗山頂直下に岩の連なりが見える。いったん下って登り返し、大岩の登りが始まる。ペンキを目印に慎重に足を運ぶ。かなりの急傾斜だが難しくはない。傾斜が緩むと頂上は近い。ハイマツに囲まれた西天狗は広く、快適だ。休憩してから東天狗に向かう。直下はガレた急傾斜なので注意。鞍部を越えて東天狗に立つ。

緩やかに下り、唐沢鉱泉分岐を左に曲がる。あたりはコケの美しい森だ。道なりにくねくねと曲がって下り、唐沢に架かる橋を渡れば、源泉の横を通って唐沢鉱泉に戻る。



天狗岳(唐沢鉱泉コース)の注意点

濡れた木の根も滑りやすい。慎重に歩こう



唐沢鉱泉からの登りのぬかるみ
登り出しは湿っぽく、登山道にぬかるみがある。靴の底に泥がつくと滑りやすくなるので、なるべく避けて通りたい。

ガレ場付近は木がないので眺望がよい



第二展望台
手前のガレ場
第二展望台の手前東側の斜面が崩れている。ロープが張られているのですぐにわかるが、近づかないように。



唐沢鉱泉分岐から先のコケの道

唐沢鉱泉分岐からの下山では、手つかずの原生林に広がるコケがすばらしい。人の気持ちを静め、癒しを与えてくれる。森が深いからこそ出会う風景だ。登山道を外れず、ふわふわのコケを傷つけないようにしよう。

Column

自然がつくりだした庭園は日常を忘れさせてくれる